

# 東成の歴史

シリーズ  
No.9

## “ひがしなりの社寺”

大阪府文化財愛護推進委員  
東成区コミュニティスクール“歴史シリーズ”講師

友 田 譲

区内には神社寺院がたくさんあり、それぞれの由緒をもち地域住民に古くから親しまれて参りました。神社はかつて一郷一村の鎮守として存在しましたが、明治末期に一部統合し、現在では五神社です。これら社寺を簡単に紹介します。

### 比賣許曾神社＝東小橋3丁目

下照比賣命ほか四柱を奉斎する区内唯一の延喜式内大社で、重仁天王(前27年)愛久日山に下照比賣祈りと祀ったのを起源とする大変古い社で、推古天皇15年(608年)正遷宮の際に天皇の行事があり、貞観元年(859年)従四位下に進められ歴史的にも有名な社です。石山合戦の折兵火にあい現在地に移り、旧東小橋村の氏神として現在に至っています。当社は宝物類も多数在し、浪速文化の消息を知る貴重なものもあります。

### 八阪神社＝中道4丁目

素盞鳴命ほか一柱を奉斎する旧中道村の氏神で、藤原道長の別業に祀っていたのを、仁安元年(1166年)里人社殿を再興し、天正12年(1584年)に現在地に移転したと伝え、もと午頭天王白山権現と称していたが、明治5年八阪神社と改称しました。

### 八王子神社＝中本4丁目

八王子大神ほか四柱を奉斎する旧本庄村の氏神で、応神天皇3年(273年)の創建と伝えられています。孝徳天皇より高麗狗一対の献納があったとも伝えられ、里人は八王子稲荷神社として崇敬してきました。又当社は古くから「椿の森」として知られていました。

明治5年百濟神社と改め、明治42年旧西今里村氏神八剣神社と合祀し、八王子神社と改称しました。

### 熊野大神宮＝大今里4丁目

伊弉册尊他二柱を奉斎する旧大今里村の氏神で、用明天皇2年(586年)創建と伝えられます。石山合戦の兵火にあい、その後再建し、元和以後大阪代就任の節と領内巡見の時には、必ず社参すること恒例とした社で、もと熊野権現と称しましたが、明治5年現社名に改め、明治42年旧東今里村氏神八剣神社を合祀しました。

### 深江稲荷神社＝深江南3丁目

宇賀御魂神ほか二柱を奉斎する旧深江村の氏神で、和銅年間の創建と伝えられます。慶長8年(1603年)豊臣秀頼が社殿を改築したとも伝えられ、境内に笠縫部の祖をまつる笠縫神社があり、笠縫一族が深江に定住し世々菅笠を作ることを業とし、今にその技術が伝えられています。

寺院の方を紹介しますと、

### 妙江寺(真言宗御室派)＝大今里4丁目

聖徳太子の創建と伝えられ、近世国学の祖と仰がれる僧契沖が、延宝7年から元禄3年まで住職として、また修学の道場として有名で、現在大阪府顕彰史跡に指定されている。

### 法明寺(浄土宗)＝深江南3丁目

文保2年融通大念仏の中興の祖、法明聖人の開墓で、境内に「雁塚」と呼ばれる鎌倉時代の二基の石塔がある。

大今里の良念寺は天明2年、観光寺は永徳年間、西蓮寺は元禄5年の創建で、融通大念佛宗です。

浄土真宗本願寺派の深江の真行寺は慶安2年、東小橋の安染寺は正徳年間の再興で、大谷派の中本の誓立寺は慶長年間、中道の浄琳寺は天文5年の創建、大今里の常善寺は寛延元年創建の木門法華宗です。

ご意見、ご希望は・・・市立東成会館(財)東成区コミュニティ協会 TEL6972-0717 FAX6972-0838

東成区のキャラクター



ルカちゃん